

令和元年度 南海少年寮 事業報告

I. 令和元年度 基本方針

「新しい社会的養育ビジョン」により社会的養護関係者に動揺と不安が広がった昨年であったが、本年度には各都道府県の社会的養護推進計画の見直しがおこなわれ、高知県においても高知県社会的養護推進計画が取りまとめられる予定である。これによって児童養護施設が目指すべき方向性や施設整備等の考え方などが示される見込みである。この高知県社会的養護推進計画が取りまとめられ次第、その計画に基づいた南海少年寮の中・長期的計画となる社会福祉法人南少・南海少年寮社会的養護推進計画を見直し取りまとめなければならない。これは本年度取り組まなければならない重要事項である。

また、昨年度設置した再発防止委員会の報告取りまとめと共に、その提言等を元にした権利擁護推進への取り組みも、取り組まなければならない重要事項である。

上記2つの重要事項の対応をしていくことを本年度の基本方針とし、各取り組みを行っていく。

■ 総括

本年度にまとめられる予定であった高知県社会的養護推進計画は、年度末に案が示されパブリックコメントがおこなわれた後、来年度正式に示されることになった。正式に示される前にもできることをおこなっていく予定ではあったが、特性を持つ児童への対応や性的な問題への対応、2月後半からは新型コロナウイルス感染拡大に伴う幼稚園・小学校・中学校・高校の休業による児童への対応により、具体的な取り組みをおこなうことができなかった。南海少年寮の社会的養護推進計画は令和2年度に高知県へ提出することになるので、来年度は必ず取りまとめる必要がある。

再発防止委員会の報告取りまとめについては、その重要な点である研修やケース会、研修のフィードバック等を職員会のやり方を見直しながら時間をつくり試行錯誤しながら進めてきた。しかし、学校等の休業もあり一定の形にまで整えることはできなかった。来年度、学校等も再開された後、整えていき一定の形にして報告の取りまとめに取り組まなければならない。

新型コロナウイルス感染防止のため、2月28日より面会・外出・外泊の制限や、検温・手指消毒・マスク着用等をおこなうなど感染防止対策をおこない、保護者等には連絡やホームページによる情報提供をおこなってきたが、施設の職員や児童が感染すると施設内感染も考えられ、事業継続も難しい状況も考えられる。来年度も感染防止に力を入れ、児童の健康を守っていくことを最優先としたい。

II. 重点事項、具体的取り組み

1 社会的養護推進計画見直しの取り組み

総括に述べたように、高知県社会的養護推進計画が当方の見通しより遅くなったことや対応すべき事が続いたこと、新型コロナウイルス感染拡大により児童全員が常にいる状況になり進めることができなかった。来年度には南海少年寮の社会的養護推進計画を提出しなければならないので、全体で時間を多く取れないことから、テーマごとに少人数で短時間の検討を積み重ねるなど、工夫をして作成していかなければならない。

各種業務の明確化と役割分担を明確にして、連携のあり方について検討しながら明文化することもできなかったの、同様に工夫をして取りまとめていきたい。

2 権利擁護推進への取り組み

これも総括で述べたように、再発防止委員会の報告取りまとめにはいたらなかったが、研修

委員会を設置し、児童の見立てをしっかりとおこない、職員全員が共有できるように、南海少年寮独自のアセスメントシート作成に向けた施設内研修を事務・栄養士・調理員も含めておこなってきた。もう少し時間はかかるが取りまとめた後、外部講師を招いての施設内研修も視野に入れている。また、ケース会も重ねているが、研修・ケース会・研修のフィードバックも試行錯誤の状況であり一定の形に整うまでもう少し時間が必要である。

小規模化へ向けた取り組みとしてグループ制を取り入れているが、児童、職員のグループがより主体的にグループ活動をおこなえるように予算確保と自由度を一定担保することはできた。しかし、予算確保してのグループ制は初めてであったことや、勤務的に他のグループとの調整が必要な点もあり、自由度の担保には難しいところがあった。グループ間の調整の場をつくり、より充実した形にしていく必要がある。

3 各種見直しへの取り組み

理念・基本方針の見直し、各種規定等の整備や見直し、アフターケアの取り組み方の検討はできておらず、不十分であった。来年度以降は、優先順位を付け一つずつ取り組んで確実に進めていかなければならない。

BCP(事業継続計画)策定への取り組みはできた。しかし、内容の充実や職員全員の周知徹底は今後必要なことである。

4 地域貢献とそのための具体的施策の検討

南少夏まつりの実施やみさとフェアへの協力、地域活動や行事への参加、PTA、青少協等への協力など地域との関係を大事にしていくことはできた。

防災行事等の実施とともに備蓄品を充実も進められている。しかし、地域との連携に関しては、今年度は施設内での取り組みとしたので今後の課題である。

社会福祉法人として地域における公益的な取り組みに関しては、高知市社会福祉法人連絡協議会の会員となり、情報収集や他法人との連携など研鑽を積んでいくこととしているが、協議会の研修に行事等で参加できなかった。来年度は協議会に部会をつくるなど、動きが本格的になるので継続して参加していく。

Ⅲ. 主な事業

年間を通しての事業

(1) 子育て短期支援事業

延べ4名 延べ11日

(2) 防火訓練は毎月おこなった。

令和2年1月13日、年1回の防災訓練となる防災行事をおこなった。

令和元年5月20日、年1回の風水害に対する訓練をおこなった。

その他

一時保護委託 延べ11名 延べ216日

2月後半より、新型コロナウイルス感染防止のため、各種行事や研修が中止となった。